広報てらどまり

昭和41年1月15日発行　No. 36

新潟県三島郡寺泊町
寺泊町役場発行
総務課：編集
全世帯もれなく配布

こよみ

1月27日	国旗制定記念日
2月 3日	節　分
2月 4日	立　春
2月11日	文化勲章制定記念日

町の発展に前進
み力ある町づくりにご協力を

寺泊町長　高綱三作

新らしい年をむかえ町民皆さんのご健勝を心よりお祝い申し上げます。

幸い昨年は社会的にみる不況の影響をうけることなく、また昭和三十六年来打続く災害の復旧工事も町民各位の協力により一段落をつげるはこびとなりましたことは誠に喜ばしいことであります。火災もなくしづかに昭和四十年はすぎ去りました。

新らしく希望に満ちた今年はみ力ある町づくりの年として、昨年を上廻る国県費による公共事業を期待しているものであります。道路の舗装、港の改修、し尿処理の問題、体育館の建設スカイライン、七浦海岸の開発等と町の産業振興策は山積していますが、私も先頭に立つて皆さんと手をたずさえ力をふりしぼつてみ力ある町づくりにつとめたいと思います。

今年は馬年であります。馬は習性をよくわきまえ手綱さばき如何によつて駿馬ともなりまた駄馬ともなります。充分手綱さばきをわきまえて静かな繁栄にむかつて大きな前進に町民皆さんのご協力を願います。

明るく正しい選挙
選挙人名簿確定
申出はいつでもできます

ことしは町長選挙が七月、農業委員選挙も七月に行なわれます。また、衆議院総選挙も年内と予想されています。

町の有権者は、十二月二十日確定によると男四、〇九七人、女四、九七二人、合計九、〇六九人となっています。

十二月二十日以後新らしく二十歳に達した人、よそから転入等でまだ名簿に載つていない人は、いつでも町選挙管理委員会（町総務課）へ登録の申出をしてください。投票所別にみますと別表のようになります。

投票区名	有権者数		
	男	女	計
第1投票区	577	792	1.369
第2 〃	413	574	987
第3 〃	356	474	830
第4 〃	233	278	511
第5 〃	375	417	792
第6 〃	474	523	997
第7 〃	423	545	968
第8 〃	272	309	581
第9 〃	595	664	1.259
第10 〃	379	396	775
計	4.097	4.972	9.069

選挙とお願いします

中学二年生の教室です。きようは学級委員を選ぶ日です。候補者はつぎつぎに自分の抱負をのべています。

A君は、教室管理のことです。

B子さんは、進学組と就職組がうまくやつていくことについて――。

C君は、委員は一度にみんなかわらない方が能率的だから、もう一度するのだと。

D君は、スポーツに力をいれるため。

すると誰かが立ちあがつて、D君はスイスのワツペンをくばつて事前運動をしたと発言しました。

みんなは顔をみあわせてD君はほんとうによいスポーツマンなのに、困つたことになつたと思いました。

教室がだんだんやかましくなつた時、候補者は何となく、よろしくお願いしますと頭をさげました。

すると教室は大笑いになりました。

選挙とお願いします。

何とむなしいことばでしよう。こどもはその意味をよく知つています。

おとなが、選挙あそび議会ごつこに、民主的なコミユニテイ作りの精神が育つているのです。

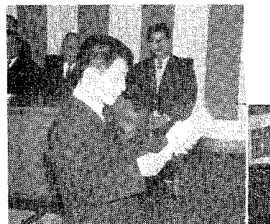
（明るく正しい選挙推進機関紙より）

オ三日曜日は「家庭の日」

この日だけはお父さんも一しよに　家中水入らずでカルタとり

たばこは町内で買いましょう

たばこ消費税は町の収入になり道路、橋、学校などをよくするのに役立つています。



力強く誓う　代表　納谷富雄君

レクリエーションで　皆んなでうたう若人の歓

はたちの自覚喜びの一五二名
代表力強く誓う一月十五日成人式挙行

はたちを迎えた若人たちが心まちにしていた一月十五日「成人の日」には、当町でも一五二名の若人を祝うべく祝典が盛大に催されました。

この日は、出稼等で町外へ転出していた人たちも帰郷して仲間に加わり、心はずませて早朝から続々と式場へ集つてきました。町長の式辞ではじまつた。高綱式典に引続き県社会教育主事俵谷正樹先生の記念講演がありましたが、集まつた一〇〇余名の若人たちはあらためて成人になつた喜びと責任を感じ、真剣なおももちで聞きいつていました。

祝酒に引続き行われたレクリエーションでは、成人来賓ともなごやかにかくし芸を披ろうしあい、有意義な一日を過し、記念撮影におさまりました。

この日、成人を代表して納谷富雄君は次のように力強く誓いのことばをのべられました。

「私たちは今日を契機に社会人としての第一歩を踏みだすことになりましたが、さらに自己の人格の完成をめざして努力をつづけるとともに、勇気と責任をもつて明るく正しいそして豊かな社会を築くために、てい身いたす決意であります。今日のこの感激を終生忘れることなく、先輩にまけないよう、立派な社会人として進んで行くことをお約束いたします」

成人の集い

式典に先がけ一月九日に公民館の主催で「成人のつどい」が行われました。美濃谷助役の「寺泊町の現状」や五十嵐秀太郎先生の「成人にのぞむ心がまえ」を聞いたあと、座談会が開かれましたが、若人たちは次のように考えや希望をのべていました。

成人の集い一月九日

――成人になつて一番感じる権利は？

「なんと言つても選挙権が一番大きな権利だ」

「酒やタバコは今の社会では切りはなすことのできない交際の一部分となつており、成人そのものにあまり関係なく、社会人になると同時に自然になじんでしまい、もうやめられなくなつてしまう。そのような社会通念になつているところに問題がある」

――選挙についてはどう思いますか？

「県知事選のときにはじめて投票を行つたが投票所での立会人の存在が威圧となつた」

「政治政策よりも相手の悪いところのみ強調するような候補者（被選挙人）の態度は好ましくない。また真の批判票が少ないと言われるのもそんなことが原因しているのではないかとも思われ、今の選挙には疑問が多くある」

――寺泊町の発展についてどう考えますか？

「寺泊の発展策として、もつと大きな夢がほしい。だれもが未来に期待するような大きな計画があると言うことはたのもしいことだと思う」

「寺泊の発展は、今後やはり観光でのびるべきだろうと思う。しかし利益的発展のみが人間のしあわせではないので、住民のしあわせを考え広汎な施策が必要だ」

「産業面での発展はもちろん必要だが、寺泊になくてはならない淳朴さとでも言うのか、良い面での郷土色はうしなわないようにしてもらいたい」

農家出稼の近況

農民が農閑期を利用して酒造りに行くとか、農業雇にゆくなどは昔からあつたことである。

しかし当時にそれほど社会的な関心事ではなかつたが、こゝ四、五年農村出稼が一般的に社会問題として大きくマスコミなどにとりあげられ全国的に農政面にクローズアップされ、さわがれるようになつた理由はどこにあるのだろうか。

一口にいつて今日の出稼の特徴を要約することは、容易でないが、主に考えられることは、生活水準の向上による家計費の増大と農用機械の普及をはじめとする設備投資の拡大などにより、その収入源を農業外から求める傾向が強くなつて来たことである。そこで町の実状を調べて見ると、

①農業従事者のうち60％以上が出稼として統計数字に現れていること
②しかも多くの経営主が通年的な出稼をしている
③農地がだんだん流動して行くこと
④出稼者の年令別をみると中高年令層が増加していること
⑤またこれらの出稼ぎは、在宅通勤方式がだんだん多い。
⑥毎日家から汽車などで通う出稼ぎ先の待遇は臨時的な職業地位が多いこと

ヒズミは、こんな状態から起きてくるいろいろ農業生産の面や生活面で複雑な問題を起している。

ある部落では農業が兼業で、夫は土工で妻は季節工員などの例もあるし、会社のマイクロバスが部落まで毎日朝夕送り迎いをやつている。たしかにこの労賃による現金収入は大きな魅力があり、毎日の暮しの足しにしている現況がうかがえる。このように今日急速に日本の経済機構が高度成長したため農業面もいろいろの意味で波及的影響を受けるようになつた。生活面では水準の向上があり、農村発展面でも構造改善事業など近代化にタイミングを合わせようとしている。ただここで考えねばならないことは、農業が他産業に押された姿勢での農業政策でなく自からの立場で打ち出した、しかも実際地方地域に則した方向づけからくる進展方向でありたいものである。

出して消すより出さない注意　火事はスグ交換手へ「〇〇が火事です」

着々進む基盤整備
公共事業で港も道路もよくなる
／町道は防塵舗装で／

新五ケ年計画で寺泊港が改修されます。第二防波堤の嵩上げ工事も終つて時化のときでも港の中があれないようによくなりましたが新五ケ年計画では工費壱億五千万円で第一防波堤の延長港内の全面浚渫が計画されています。

今年は第一防波堤の延長工事が施工されて北北西の方向に三十五米程延長されました。港の利用をめぐつていろいろと青写真も最大のみ力は対岸赤泊との最短距離を活用したフエリーボートの就航です。いま県の段階でもけんとうが加えられており是非実現させたいと考えております。

港と結ぶ幹線道路の整備も急速にかどつて、旧二国では立体交差による道路改良も計画されていますがすでに五分一から硲田地内にかけての舗装工事も終つています。長岡に結ぶ大河津街道は今年中に法崎までの舗装工事も終り、大河津駅へあと一息という処です。双川橋の永久橋に架替する工事もはじめられみぞれ降るなかで枕打ち工事がすすんで双川橋より駅よりの嵩上げ工事も着工されていますので、あと一、二年で大河津駅と海岸を結ぶ快適なコースができ上ります。

大河津街道も一、二年で旧二国と立体交差する計画がたてられていますが、左右いずれを通過するかに沿線町村の繁栄をかけている注目の関越高速道路が、左岸を通ることになりますと町の道路を中心とした産業構造に大きな転換をもたらすことでしよう。

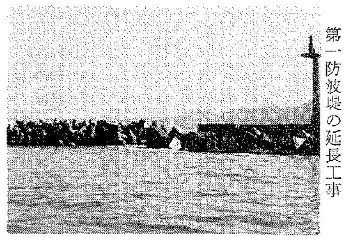
高速道路とともに方線に期待をよせていました弥彦角田スカイラインも野積地内に通ずることになりましたので、港と道路を結ぶこれからの産業振興に希望がもたれてきます。

国県道の改良に併行して町でも昨年よりはじめて取り入れた防塵タール舗装で町道幹線の舗装工事を今年度は本山地内、夏戸地内、小豆曽根地内の町道について施工しましたが、轍圧後の厚味二センチという簡易舗装で工費も一平方当り約三百円位という安い割合いに大型車も通れるので、雨降りでも泥をハネられる心配もなくなつて地元では好評です。

年々舗装面積も延ばしていくので町内全線の舗装も間近でしよう。

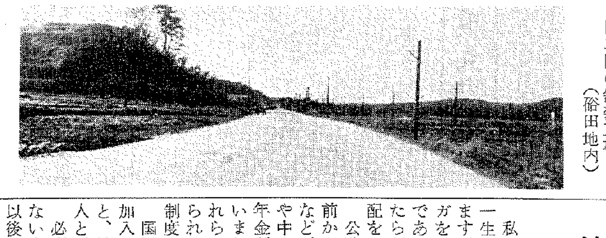
カメラスケッチ

野積橋完成図



第一防波堤の延長工事

新道地内の拡巾改良工事



旧二国の舗装工事（硲田地内）

はたちになつたら国民年金
保険料は完納しましょう

私たちはだれでも幸福な一生を送りたいと願つていますが、年をとつたり、ケガをしたり、一家の働き手である夫がなくなつたりしたらどうなるか、という心配をたえず持つています。

公務員や会社員には、以前から恩給や厚生年金制度などがありましたが、農業や中小企業などに働く人は年金制度から取り残されていました。国民年金は、これらの人たちも年金が受けられるようにしようという制度です。

国民年金には法律で必ず加入しなければならない人と、希望により加入できる人とがあります。

必ず加入しなければならない人明治四四年四月二日以後出生の二〇歳以上の人で、現在他の年金に関係のない人。

現在職場の年金制度に加入している人の配遇者や、恩給を受けている人およびその配遇者で、明治四四年四月二日以後出生の人

保険料は二〇～三四歳が一か月一〇〇円、三五歳以上一五〇円（一年分以上前納すると割引される）ですが、国からも納付額の二分の一が国庫負担として加算されます。

〝後悔は先にたたず〟といいますが、いざ年金が必要になつたとき、加入していないともちろん年金は受けられず、さかのぼつて保険料を納めるから年金を受けたいといつてもそれはできません。

寺泊町で現在国民年金に加入している人は、四千五十七人ほどですが、加入しなければならない人、加入を希望する人は早く届出をしてください。とくに新しく成人に達した人も、ぜひ加入の手続きをして下さい。

加入している人が他の年金制度に加入した場合は、二重加入ができませんから至急国民年金から脱退の届出をして下さい。

今までに拠出制国民年金の受給権者となつた人は、付子年金一〇人に達しました。保険料を期限までに完納しなかつたため、せつかくの年金を受けられないという気のどくな人もあります。保険料は必ず期限内に完納してください。

納めた保険料は、所得申告の際に社会保険料として所得から控除されます。

また、保険料を長く滞納すると、督促および滞納処分を受けることがありますからご注意ください。

保険料を納める余ゆうのない人には、免除の制度がありますから係にご相談の上、手続きをしてください。

国民年金は「国民だれしもがひとり残らず年金を受けられる」ための制度です加入が遅れたためまた保険料を滞納したために年をとつたり、不幸にも事故が起きた時、せつかくの年金を受けられないということがないようにおたがいに気をつけましょう。

気象予報

二月概況
冬型の気圧配置の日が多く、中旬には寒さのやわらぐ時期もありますが、降雪は多目となる見込みです。気温は低目、降水量は多目、日照は少目でしよう。

三月概況
三月は変動の多い月ですが、前半はやや寒い傾向があり、後半は次第に暖かい日が多くなりましよう。気温は並か高目、降水量日照は平年並でしよう。

新潟地方気象台発表

もういくつねると一年生
ことしの入学児童は二五一名

今年新らしく小学校へ入学する新一年生は昭和三十四年四月二日から昭和三十五年四月一日までに生れた児童で、すでに入学児童について教育委員会では確認も終つていますが、二月上旬から健康診断が実施されます。これは入学後の学校生活に支障のないように事前協議する事が目的です。

健康診断の内容は眼疾、耳鼻咽喉、歯、内科的疾病栄養状態のほか知能検査等細部について実施されます。結果については通知されますので、万一疾病、その他のさいは入学までに治療して下さい。

健康その他で入学できない児童は医師の診断書を添付して早目に願書を教育委員会へお出し下さい。

新一年生を学校別にみますと

学校別	男	女	計
寺泊小	四〇	五〇	九〇
郷本小	七	四	一一
夏戸小	七	一三	二〇
本山小	一一	一三	二四
野積小	一三	一三	二六
大河津小	二七	三六	六三
山ノ脇小	一〇	七	一七
合計	一二六	一三五	二五一

（四一、一、一五日現在）

です。

残り少ない保育所生活でたのしいおゆうぎ

新一年生をおもちの家庭ではいろいろと心を配つておられることでしようが、子供さん達を待つ現場の先生方はつぎの点について各家庭の協力をもとめております。

いまのうちになおしたりおしえてもらいたいことは

1. 返事は「ハイ」

入学して子供さんとうけもちの先生との間でとりかわす最初の会話は「寺泊太郎さん」「ハイ」というごくみじかいものですがなかには多ぜいの人の中では「ハイ」という返事もできない子供さんもいてそれがこれからの学校生活の中に明暗二つの方向にわかれる大切なキッカケともなることなので今から家族ぐるみで練習を、また、名前だけでよんでいる子供さんには「寺泊太郎さん」と正しいよび名でよぶことも大切です。

2. 自分のことは自分でまず大小便が一人でできることで

①ズボンのあげおろしができること
②学校の便所でも一人でいけるように

また、衣類についても一人でぬいだり、着たりできることも大切なことです。

教えておいてよいこととして

1. 名まえがよめる

名前がかける

入学式の日学校へ行くと下駄箱に名札がはられています。それをよくたしかめてそこにくつをぬぎます。教室に入ると机にはられている名札をさがして着席します。入学第一日目から自分の名まえさがしがはじまります。

2. 10までかぞえられる

一年生で当座に必要な数は十までかぞえられるようにお風呂等に入つたりしたときには「五十までかぞえたらあがつてもよいよ」とかずのおけいこも一つの方法です。

3. 正しい交通について

交通事故から守るために道路を歩くときの事などについて充分注意をあたえる。

就職に、進学に羽ばたく388名
進路をはばむせまき門

一月十日よりスタートされた三学期は、年度末を控え一年のしめくくりの意味で九つの小中学校に多忙をきわめています。殊に大河津、寺泊両中学校は卒業間近い三年生の就職、進学に最後の追いこみに入つています未曾有のベビーブームからのマンモス学級は一応峠を越えていますが、高校進学希望率は年を追う毎に増加しており、高校の学級減も予想された今年は、依然としてせまき門となつています。

一方就職の方も不景気風のあおりを喰つて大会社への門は決して広くはないようです。

両中学校の本年度卒業予定者の進路の傾向は別表のとおりですが、県内外とも鉄工関係求人は激減しているようです。

しかし全体としては求人が求職を上まわつているようです。また、本町出身者で、東京で食堂経営で成功されているむきも多いせいか、縁故関係で東京のそばやさんに就職する生徒がわりに多いようです。

進学については、全国的な傾向に似て両校とも進学率も高く、志望校は依然とし普通課程の学校が多い。

就職希望者の大部分は既に就職先も決定し、義務教育最後の仕上げに余念がない。

進学希望者を持つ家庭では、気遣いも大層のことと思うが、最後の追込に家ぐるみで生徒の健康管理をはじめ心くばりについてのような事を考えてほしい。

一、健康管理　毎年流感の時期になると受験生が倒れる。運動不足によるものが主であるから夜の学習のあいまには体を動かして、体力を養うようまた夜食も消化のよいものであるように、インスタントをそのまゝでなくちよつとした動物性蛋白質や生野菜などを添えるような配慮がほしい。

二、心の平静を保つ　受験への不安や、疲れからイライラしがちであろうが、直接云つても効果はなく、家族みんなで団らんのうちにまたゲームなどで緊張をほぐすような配慮が望ましい。特別扱いをするということではなく、家族ぐるみで自然のいたわりやはげましがほしい。卒業生の御多幸と御成功を心から祈る次第であります。

大河津中学校　卒業生徒数106名

進学	就職	在家
58名 (54.7%)	36名 (33.9%)	12名 (11.3%)

寺泊中学校　卒業生徒数282名

進学	就職	在家
170名 (60.2%)	90名 (31.9%)	21名 (7.8%)

水道管が凍ります
布など巻いて

寒さがきびしくなるにつれ水道管の破裂事故も多くなります。つぎの点について充分注意して下さい。

- 裸の水道管にはフエルトや厚い布切れを巻きその上に防水布やビニールなどをまく
- 床下などに露出している管には土などをかぶせる
- 特に寒い夜は寝る前にビニールなどでジヤ口を包むか、水を少しづつ出しておく
- 水道管が凍つたときは、まずジヤ口にぬるま湯をかけ、だんだん熱い湯をかける。始めから熱い湯をかけると破裂することがあるので注意する。

事故のおきたときの連絡は　電話寺泊二四一番または大河津支所へ

相談室

『健康相談日が変更になりました』

与板保健所で実施している健康相談の日時が今年から、次のように変更になりましたのでお知らせします。

◇結核健康診断………毎週月曜日午前9時より11時まで

但し B.C.G. 接種は毎月第3月曜日の午前9時より11時まで

◇精神衛生健康相談（心の健康）………毎月第3金曜日午后2時より3時30分まで

◇優生保護相談　△医療社会事業相談　△家族計画相談等は、とくに相談日をきめないで随時おこなわれます。

相談料は無料です。